

南小だより

学校教育目標

心豊かにたくましく生きる児童の育成

かしこい子

やさしい子

たくましい子

さわやかなあはれつ きれいな学校

平成26年7月18日

第5号

川越市立高階南小学校

新しい自分との出会い 夏休みは長い長い自習時間

いよいよ訪れる、長い長い夏休み。普段できないことにチャレンジする絶好のチャンスです。

学校では、林間学校、水泳教室、算数教室、個人面談と、休みに入ってから様々催しごとがありますが、時間的には少し余裕があるはず。宿題を早めに済ませて、興味があることに積極的に挑戦してみましょう。そこには、新たな発見があるかもしれません。

自分の子どものころの記憶をたどると、夏休みというと、毎日朝から晩まで毎日遊んでいたような気がします。家の中でじっとしていることなんて考えられませんでした。蝉取り、川遊び、時には自転車で遠くまで出かけ、帰りが遅くなって親に大目玉をくらったなどということもありました。もちろん携帯電話などありません。家に連絡もできないまま、自転車で帰る暗い道の先に、我が家の明かりを見つけたときには、本当にホッとしたものでした。

当時、朝は、神社の境内でラジオ体操。眠い目をこすりながら、スタンプを押してもらうために一生懸命参加しました。一度帰宅してから、今度は集会所に集まって、皆で夏休みの宿題（確か『夏休みの友』といった冊子があった。）をやりました。早く遊びに行きたくてうずうずしていたのを覚えています。遠い昭和の時代の、のどかな夏休みの出来事です。

今も昔も、子どもたちにとっては、長いようで短いのが夏休み。それは、誰かにやることを全て決められた時間ではなく、自らやることを選べる、幸せな時間でもあります。夏休みは長い長い自習時間。その取り組みは、自分の心がけ次第で充実したものにも、空っぽなものにもなってしまいます。

子どもたちにはいっぱい遊んで、いっぱい学んで、いっぱい経験をしてほしいと思います。9月には、全員が元気に成長した姿を見せてくれることを心から待っています。

〇〇予知能力と〇〇回避能力

この二つの言葉の前につくのは「危険」です。交通事故、不審者、異常気象。今の時代、子どもたちに迫る危機はいくつもあるのですが道路での危険を察知し、事故を避ける。人通りの少ない場所や暗い夜道を一人で歩かない。突風や雷には十分注意する。「自分の身は自分で守る」という心構えが大切です。夏休み中は、特に気持ちも緩みがちです。保護者の皆様からも、危険を予知し回避することの大切さについてお話しください。

今学期も、保護者の皆様、学校応援団の皆様をはじめ、たくさんの皆様に見守られ、子どもたちは伸び伸び生活することができました。本当にありがとうございました。学校は、多くの人間が生活する場ですから、トラブルもあります。そこで、一生懸命考え、話し合い、乗り越えていこうと努力しています。今後とも、温かいご支援をよろしくお願いいたします。



声優さん劇団員さんに学ぶ



大きめの絵本で読み聞かせ



浦和レッズハートフルクリニック

* 読み聞かせボランティアさんを募集しています。ぜひご協力をお願いいたします。